



TCA

—NEWS—

Vol.36 春号

発行
富山市民国際交流協会
広報委員会

〒930-0085 富山市丸の内1丁目4番50号
富山市国際交流センター(市図書館1階)内
TEL (076)442-1109 FAX (076)442-3807
発行責任者 広報委員会委員長 岡田昌代



「老嶺」という自然保護区の山と森林の風景（写真提供：秦皇島市人民政府外事弁公室）

秦皇島市の環境

～環境保護局の管理～

「老嶺」という自然保護区は、秦皇島市の郊外青龍県に属しています。この保護区には、滝など素晴らしい名勝地も多く、環境保護局の管理の下、観光客も訪れることができます。

ボランティアで育てよう 富山市民国際交流協会

今日の一步で明日が輝く ～小さなボランティアにチャレンジしよう～

講師 OFFICE・よしとも代表 吉友 嘉久子氏 (当協会副会長)



2月2日 当センター

「ボランティアによって社会とのつながりができ、お互いが“元氣がもらえる”」と、一歩踏みだす勇氣、その小さな一歩が人生を支えるなど自らのボランティア体験を通して講演されました。

ボランティア3つのマインド

＝自発性 無償 公共性

現在はボランティア多様化時代でニーズからウォンツへと、お互いに心が通い合う感動共有のかかわりをつくることを求められている。

輝いて生きる

人生80年・70万時間を輝いて生きるためのプランニングは自分を冷静にみつめることから始まる。

- ・自分の心をケアする
“心は持ち方で違う……”
人の所為にしてはいけない。出会った人や取り巻くもので人生は変わるものではない。あなたが周りをどう見ているかで変わるのだ。

- ・アクティブな自分づくり
“前向きな自分……”
毎日明るく生きる。積極的な明るさで、クリアすると力がつく。

- ・心のエンジン全開で輝こう。
「情熱の切れっ端で生きるな
全情熱を傾けて生きること」
(岡本かの子より)
参加者たちは、講演中の例話に感動して、書き留めておこうと、聞き返したりメモを取るのに大忙しでした。

そして
「小さなボランティアでいい
目立つような
大きな活動でなくても
自分らしい心で
活動すればいい」と…。

ボランティア委員会

「英語によるスピーチと 私の日本」

スピーカー



2月19日 当センター

英語講師として来日以来3年半、今では日本語を上手に話せるようになったと、自分流の日本語習得法を公開するかたちで講話されました。

日本に興味を持ったきっかけは、海兵隊員だった父が買ってくれた「ロボットのおもちゃ」日本のお土産です。在学中に1年間富山大学へ留学し、アメリカの大学を卒業した後に、日本で小学校と中学校で英語を教えています。

質問にはこれまでの経験から…と。「6年間も勉強しているのに、なぜ日本人は英語を話すことができないのか?」…

まず、英語の発音と言い方に慣れる。間違っても恥ずかしさを乗り越える。質問には、人を頼らず自分で

もっと知ろう世界の街

第9回 少数民族カザフ族の音楽と文化



講師
アイティ ムラティ氏
(中国新疆ウイグル自治区出身 カザフ民族)

2月9日
当センター

サレメッスィズベ (こんにちは)。草原の歌人ムラティさんが民族楽器(ドンブラヤコブス)を用い放牧調でカザフ地方を紹介し、また、ムラティさんの妻ジャンルさんは、音楽の解説をしながら同地方の現状や生活・文化を民族衣装なども見ながら紹介しました。

また、ドンブラの伴奏で日本の歌を合唱したり異国情緒をたっぷり味わいました。ラッハメトウ (ありがとう)

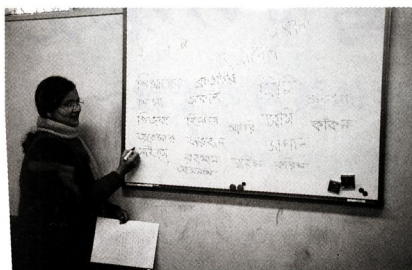
文化交流委員会

多国言語文化交流クラス

第18回 ベンガル語 (バングラディッシュ)

講師 ナラン ナハール氏
(富山大学留学生)

「スボナボボルソ！」ベンガル語で新年のあいさつ。バングラディッシュでは、4月14日がお正月で「ブイシャ」といい、季節は6シーズン(夏、雨期、秋、露期、寒期、春)に分れる。90%がイスラム教徒で人々の生活は貧しく識字率は60%と低い。



1月5日 当センター

また、ラマダン(断食)やパルダ(男女隔離の制度)、ブルカ(女性が出るとき被るヴェール)、民族衣装や食べ物などのほかベンガル語の特徴について学びました。

討論」クラス 特別例会 語学習法

呉羽中学校英語指導助手 ベン ジャッド氏

答えてみる。修飾語の練習をすること。英語のユーモアや率直な言い方に慣れること。ジェスチャアを交えて表情豊かに話すこと。

「勉強方法は？」…

一番重要なのは文法だと思う。文の骨組みとしては中学校で習う文法で十分。読む能力は簡単なもの（例えば絵本）から。書く練習は日常の出来事を日記のように書いて時々チェックしてもらおう。話す練習はネイティブを相手にして発音を中心に直してもらおう。

「ポイントは？」…

いつもメモを持ち歩いて、気が付いたことは書き留める。毎日勉強する。「書く、読む、話す、聞く」のバランスが取れているか常に自問。外国語を習得するのは時間がかかるものと割り切る。焦らずに勉強を続ける。

本日は、いろいろな国の方たちが出席されていますが、外国語を勉強する場合にお役に立ててもらえればうれしいです。と、スピーチを終りました。

講話・座談・質疑討論などすべて英語で行われました。

国際教養委員会

国際交流 TCAカレッジ

子どもの心に届く交流を ～外国人の子どものいる教室から～

講師 富山大学教育学部助教授 藤原 孝章氏



3月2日 当センター

移民や外国人労働者など外国人の増加による多文化共生の現代社会の課題と子供の教育について考えました。

日本における平成12年度末現在の外国人登録者数は約170万人です。超過残留者（不法滞在）を含めると約200万人の外国人が滞在していると云われています。その内訳は、日系移民（祖父母が日本人である。ブラジルなど）、出稼ぎ（自動車工場労働者など）、定住難民（ベトナム戦争後日本政府が受け入れている難民）、中国残留孤児やその子孫や韓国・朝鮮（旧植民地出身者やその子孫）などのほか、企業人や留学生など多様である。

1960年代までは、「国際理解教育」と言えば移民奨励教育を指していたものである。

富山県においても平成13年度には外国人登録者数は1万人を超えています。ブラジルなどからの日系人や、国際結婚の増加、これまでの単身で短期滞在型から家族での長期滞在型となって来ている。民族・在留資格によって日本における法的身分・地位が違い、就労・社会権など様々な制限をうけることや民族教育・多文化教育が必要となる多文化共生の課題に注目され、関心が高まって来ている。

「小杉町太閤山小学校の国際学級では、ブラジル人の子どもたちに日本語を教えながら勉強を進めるための外国人子女支援講師 上間さんが授業中は母国語で補助をしたり、親たちのためにポルトガル語で書かれた学級通信を発行している」などの取り組みを紹介されました。

また、講師の開発した地球市民教育～多文化共生をめざして～のシミュレーション教材の紹介もありました。

総務企画委員会

第19回 オランダ語

講師 ポール ガウ氏
(海運会社勤務)

オランダ語は、西ゲルマン語から派生した1つの言語で英語とドイツ語と親戚関係にある。

オランダは、三浦按針（ウィリアム・アダムス）など日本とのかわりが古くからあり、すぐに風車やチューリップの風景などを思い遣します。

KLompen（木のクツ）、アンネフランクなど興味深いたくさんの質問が出ました。



2月2日 当センター

第20回 フランス語

講師 ダリ オレリア氏
(フランス語教室 アルファベ 講師)

「17世紀末頃からフランス語はラテン語に代って西ヨーロッパで多く用いられるようになった」などフランス語の歴史や、フランスの歴史も学びました。また、エッフェル・タワーやノートルダム大聖堂そしてノルマンディやイル・ド・フランスなど

パリやフランスの地方の魅力を感じながら講師の手作りの教科書で全員があいさつなどを話せるようになりました。



3月2日 当センター

国際教養委員会

富山での研修

胡 著春氏
李 景坤氏



「とやま祭り」おわら踊りに参加して

富山市農政振興課 農業研修 として平成13年7月3日～8月9日まで滞在し、当協会
で日本語を学んだり行事に参加したりして
交流しました。

秦皇島市と富山市が友好都市を提携して20周年の記念の年に、農業研修生として富山市に来る事ができました。とても光栄だと思っております。

日本に対する第一印象は、生態環境がとても良いという事です。自然環境が良く、山紫水明、田園風景が

美しく、また、汚染が少ない素晴らしい国です。富山市は美しく清潔な町で、立山は富山に十分な潤いを与えておいて、非常に空気が良くて一か月間ずっと履いていた革靴は拭かなくてもピカピカでした。車のクラクションを聞く事も少なく市内の道は整然として川や公園は綺麗でバランスよく整っています。害虫が繁殖する夏という季節であっても蠅とか蚊とかあまりいませんでした。

また、深く印象に残ったのは、日本の国民が友好的で誠実であるという事です。研修と勉強のスケジュールはとてもきつかったですが、合間を抜いていろいろなところへ視察や見学にも行かせていただきました。その交流を通して日本人の勤勉、誠実、知恵、礼儀をよく理解できました。富山にいる間は親戚のところを尋ねているような感じで、今回の研修任務を円満に終わらせていただく絶

好の環境を作ってくださいました。

研修は果物を産業化するというテーマでしたが、日本は経済が発達していて、国民の生活レベルも高く果物の品質も一流でありました。果物生産者は品質に厳しくこだわって、例えば梨の場合では、糖分を高める・殺虫剤を使う時は国の定めた低害農薬を使い、成熟する20日前までしか農薬を使わない・果物は厳しく選別し検査をしてから市場に出す・生産者は果物を入れる箱に産地や生産者の名前および連絡方法などを明確に書き込むなどをして、高い信用と多くの利益を得ています。このようなやり方を私たちは勉強しなければなりません。

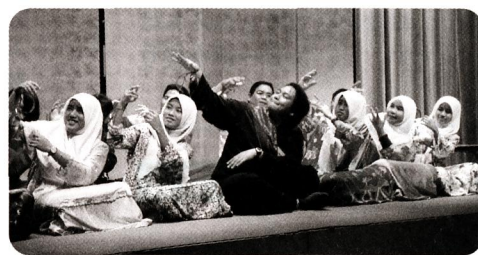
富山の未来はさらに明るく、豊かで美しくなるよう心から祝福します。中日両国人民が世代々友好的であることを願っています。

新春国際交流の集い 2002

1月12日 CiCビル 5F多目的ホール



ジャンケン大会



マレーシア民族舞踊「ディキル・バラット」

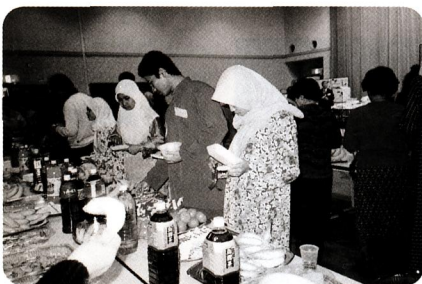
「世界中が平和で、明るい希望の年となりますように…」と願いながら、富山在住のアメリカ、中国、韓国、ブラジルなど19ヵ国の外国人の人たち約80人と会員らの150人が集い、踊りやゲームなどを一緒に楽しんで親睦を深めました。

1月11日の「鏡開き」にちなんで鏡開きの説明のあと、ぜんざいが配られ日本のお正月の風習をおいしく味わいました。

マレーシアの留学生たちによる民族舞踊「ディキル・バラット」などステージや、全員でおわら踊りの輪おどりを楽しんだ後は、アメリカのすごろくなどのゲームや輪投げに挑戦したりしながら交流の輪を広げました。



“こきりこ&越中おわら踊り”を輪踊りで楽しむ



おいしく ブレイク



輪投げ競争



アメリカンすごろく



抽選会で大当たり

私が見た日本

師 紅氏



夏休みに日本の大学で(博士課程)勉強している主人の招きで、私と子供は日本に行きました。

関西空港で飛行機を降りた時から目に写ったのはすべて新鮮で、見慣れない物ばかりです。駅で富山行きのチケットを買う時、西安のように長い列を並ぶ情景が全然見掛けません。自動切符売り場でお金を投入口に入れてチケットとお釣りが自動的に出てきます。改札口にも駅員の代わりに長く並べてあるのが自動改札機です。私はチケットを入れ通った後パーという音が聞こえましたが、改

札口の向かい側にまだ着いていないうちにチケットがもう向こう側に出ている私を待っています。あちこち自動販売機が置いてあることなどを見て日本の高度的な現代化をしみじみ感じさせられました。

JRの列車には、荷物を置く棚があり大きな荷物がそこに置くことができ、中国の列車より綺麗で快適です。座席がソファ式で、リクライニングシートで、回転させると対面式に話の場になりとても便利です。日本の交通が非常に便利だと聞きましたが今回とうとうこの身で体験できました。列車が電氣化され交通網が四方八方に通じて発車時間、到着時間もはっきりと看板に書いてあるばかりでなく、電車の発車と到着時間もとても正確です。日本人が時間を大切にするということにも大変感心しました。歩く速度が速くて特にラッシュの時、駅の周辺に川の流れのような猛スピードで歩いている人がいっぱいいて人達はまるで時間との戦いをしているようです。

道中車窓から眺めたら、びっくりするほどの狭い街道を目に収めまし

た。こんなに細くて狭い街道は国際的大都市とあまりに合わないことだと思いました。日本は国土が狭いので土地を有効利用する意識がどの国よりも強いと思います。海を埋めて道路を作り、地下には商店街もあり地下鉄道も発達しています。掌のような狭い屋根さえも上手く駐車場として利用されています。

また、びっくりは日本の生活費が想像できないほど高いです。

飛行機から見た日本諸島は緑がとても綺麗でした。富山は、呉羽山から雄大な立山連峰を見て環境保全を整えた街々綺麗で清潔だし一週間ぐらい履いた靴は拭かなくてもピカピカです。私は、近年来経済の発展にしたがって環境問題が激しくなった西安も早く環境問題を解決できることを期待しております。

日本にいる時間が短かったのだからさん分かりません。それでも私と子供に深い印象を与えました。好奇心も満足され視野も広がりました。機会があれば、親切さがあって現代化の日本をもう一度見たいと思います。

お知らせ

お申し込み・お問合せは当協会まで
TEL076(442)1109 FAX076(442)3807

平成14年度

富山市民国際交流協会総会

と き 5月18日(土)

ところ 富山国際会議場 メインホール

- ・総会
- ・富山市民国際交流協会設立10周年記念事業
基調講演
パネルディスカッション
- ・交流レセプション

※総会のスケジュールは、検討中のため詳細につきましては決定次第、別途ご案内いたします。

会員みなさんへ〈会費納入〉のお願い

○会 費 1口 個人 3,000円 家族 5,000円
団体・法人 10,000円

○納入方法

- ①当協会窓口
- ②振込の場合は 北陸銀行富山市役所出張所
口座 富山市民国際交流協会
普通預金 No.4076440

受講者募集!

研修場所 当センター

(平成14年度講座開講予定)

・受講料が必要な講座です

講 座	実施時期および日時	年 間 授 業 料	
		会 員	非会員
日 本 語	毎週火曜日 19:00~20:30 (5/14~全36回 夏期、年末年始休み)	5,000円	8,000円
中 国 語	毎週金曜日 18:30~20:00 (5/10~全36回 夏期、年末年始休み)	5,000円	8,000円
ハ ン グ ル	毎週金曜日 18:30~20:10 (5/10~全36回 夏期、年末年始休み)	5,000円	8,000円

・会員は受講料が無料の講座です

国際教養委員会

講座クラス名	研修実施 日・時
1. 英語通訳・ガイド練成・実践クラス	毎月第4土曜日 10:00~12:00
2. 英語通訳・ガイド養成・実践クラス	毎月第4土曜日 10:00~12:00
3. 英語によるスピーチと討論クラス(E.S.D.)	毎月第3火曜日 18:30~20:00
4. 国際教養サロンクラブ(英語国際文化談話)	毎月第2月曜日 18:30~20:00
5. 楽しく学ぼう英語研修クラス	毎月第2土曜日 13:00~15:00
6. 日本文化英語交流クラス	毎月第4水曜日 18:00~19:30
7. 日本語ボランティア入門クラス	毎週土曜日 10:00~12:00
8. 中国語入門クラス	毎月第2土曜日 10:00~12:00
9. 中国語初級クラス	毎月第3土曜日 13:30~15:30
10. 中国語中級クラス	毎月第2土曜日 10:00~12:00
11. やさしい中国語会話サロンクラス	毎月第1土曜日 10:00~12:00
12. ロシア語入門会話クラス	毎月第2土曜日 13:00~15:00
13. 多言語文化交流クラス	毎月第1土曜日 10:00~12:00

臨時企画「もっと知ろう世界の街」 スリランカからお帰りなさい！

当協会前事務局職員の荒山洋子さんは、青年海外協力隊平成11年度第2次隊村落開発普及員として平成12年1月からスリランカへ派遣され、この度、2年間の活動を無事終えて帰国されました。



3月3日 当センター

これを機会にスリランカでの活動や人々とのふれあいなど異文化の中で体験したことを話してもらいました。

主な産業である紅茶やゴムに関するプランテーション、エステートなどの社会組織についてや茶摘みの様子、また、植民地の弊害（地理的、社会的に隔りがある。少数民族が住みにくい。貧富の差が大きい。旧制度に縛られている。）などによって、シンハラ人とタミール人との共生がむずかしいことが内戦など社会不安の原因となっているのではないかと、現地で社会福祉の仕事に携わりながらの生活等について状況を聞きました。

オーストラリア青年たち来富

世界青少年交流会の主催でオーストラリア青年代表団が来富しました。富山プログラム担当の富山県世界青年友の会が招へいたオーストラリアの青年



池田安兵衛商店見学

たち17名はホームステイなど家族ぐるみの交流を中心として1月19日から22日までの4日間滞在しました。

市内見学や薬膳料理などを楽しみながら多くの人たちと交流しました。

龍踊りで祝う 春節晚会

中国の旧正月（今年は2月12日）を祝って「日中友好30周年記念“春節晚会”」が、富山・中国ネットワーク、富山日中文化交流会ととやま自遊館の協力で開かれました。留学生や研修生など富山在住の中国人や日本人ら約330人が出席しました。

特別な祝い事で登場する龍踊り、京劇、雑技、太極拳や越中おわら節の輪踊りなどお互いの国の文化にもふれ、食事をしながら楽しいひとときを過ごしました。



2月10日 とやま自遊館

JET世界まつり2002 地球人集れ！

富山県に住んでいるCIR（国際交流員）とALT（外国語指導助手）たちが「心の交流をしよう」と企画した“JET世界まつり2002”に大勢の外国人や日本人たちが訪れました。だれでも参加できる異文化体験!!とステージアトラクション、出身国紹介ブース、国際喫茶店、ミニ外国語レッスン、こどものコーナーなど様々なイベントを楽しみながら交流しました。

（当協会行事にいつも協力していただいているタイのスナイさん、バングラディッシュのニニニさんも出店しました）



2月17日 新湊市中央文化会館

キムチ鍋は3位になりました！

「とやま鍋自慢大会」で当協会ハングル講師 姜慶淑さんと韓国の留学生たちはキムチ鍋を作りました。伝統的な鍋や個性豊かな自慢の鍋など18種類の食べ比べがあり人気投票ではキムチ鍋が3位になりました。

3年前から始まったこの大会に毎年参

加している姜さんたちは「4年間、味をキープするのに大変苦労しておりますよ。とにかくものすごくうれしかったです！」と。



2月2～3日 立山町グリーンパーク吉峰

編集後記

～心の窓を開いて…みんな地球市民～

春、今年もそれぞれの国へ帰って行く人たちを送り、そして、また新しいステキな出会いが始まります。

昨年の5月頃のことです。富山大学の先生から「メキシコからの留学生モイセスさんが食欲も無く、カルチャーショックになっている。なんとか力になってあげる方法はないものか」と電話がありました。何か方法はないものかと考えるうちに、自国語で思いを話し合えたら少しは楽になるのでは…と、早速、当協会のスペイン語講座の方へお願いしてモイセスさんを誘ってみました。モイセスさんは、みるみるうちに明るく元気になりました。

日ごろから留学生、研修生や富山在住の外国人の人たちは、悩みや相談に、また、交流に当協会へたくさんやってきます。そして、彼らは「この協会は外国から来た人たちの心の拠り所です。」と。また、会員たちは「ここへ来るとステキな出会いと異文化にふれて、知ったり学んだり気付かされたり出来るのが楽しみです」と言います。

平成14年度は、富山市民国際交流協会も10周年を迎えます。当協会は、ひとりひとりが主人公の国際交流を進めています。多くの情報を広く発信し、さまざまな出会いの場を提供し、心と心の交流を広げていきたいと願っております。

あなたも交流の輪が大きく広がりますように協会会員1000人達成を目標に会員募集にご協力よろしくをお願いいたします。

広報委員長 岡田昌代